

まだらの風



令和6年12月24日
学校便り No.17
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

以前本校でお勤めされていた先生から、クリスマスにとシクラメンが届きました。勤務されていたのは30年ほど前のことですが、毎年欠かさずお花をいただいているとのこと。鮮やかな彩りで玄関を明るくしてくれています。

2学期を無事終わりました～この1年にありがとうの思いを～



12月24日、2学期の終業式を迎えました。校長講話としてこの1年間を振り返って馬渡小中学校のよかったことベスト3を発表しました。🏆 第3位「みんなが勉強をがんばる」、🏆 第2位「夢を語れる」、🏆 第1位「周りの人を大切にしよう」です。子どもたちが学校の活動をおして見せた笑顔と頑張り、保護者さんや地域の方を元気にしてくれていれば幸いです。また、感謝の気持ちを伝えることの大切さについて話をしました。同じ学校で過ごす仲間、先生、ご家族、地域の方々との小さな「ありがとう」の積み重ねがみんなの心をつなげ、すてきな毎日を作っています。子どもたちからご家族に「ありがとう」の一言が言えることを願っています。新年3学期は1月8日(水)が始業式となります。新年、元気なスタートを切りたいですね。

加唐小と Web 交流授業～対話と協働の学び～

12月10日、馬渡小と加唐小の5年生同士で Web 交流学習を行いました。Web 会議ソフトを用いて離れた学校間で同時・共同に学習を進めます(相手の様子はモニター画面越しに確認します)。学習内容は国語「提案します 1週間チャレンジ」という単元で、学校をよりよくするための活動を馬渡と加唐それぞれの学校で企画し発表し合います。両校の児童それぞれの発表をもとに「印象に残るように話す方法」は何かをマッピングを用いて具体的にイメージし、ラーニングマウンテン(学習計画)を共同で作りました。普段とは違った相手と一緒に学習することで多様な意見を聞けたり、学習の目的を明確にしたりすることができました。様々なクラスでチャレンジしています。



ギター練習に挑戦～慰問演奏会をめざして～

12月11日、地域の山口さんを講師にお招きして中学生のギター練習を行いました。2、3年生は昨年度も練習していますが、1年生はギターに触るのもほぼ初めてです。ギターの首を持つのは右手か左手か?から始まって、フレット、弦等の用語を教わりながらコードに沿って指を動かします。「指が届かない」と嘆きながらも、山口さんの丁寧な助言に従って次第にメロディーラインが響いてきます。2月の老人憩いの家での演奏会をゴールに、「島人ぬ宝」など4曲の練習を続けていますのでご期待ください。



「まだらだから」レコーディング～まるでアーティスト!??～

12月13日、ON THE ROAD 代表の津田さん、古場さん、アーティストの徳丸英器さんらが来校され、「まだらだから」のレコーディングが行われました。収録会場となった音楽室には14本のスタンドマイクとヘッドセットが設置され、まるでレコーディングスタジオの様相です。「番所の辻から見える♪」というサビの部分の収録は全員ばっちり歌えていて徳丸さんから「すごい!」とほめていただきました。曲全体を覚えている子どもも多く、各部分を4人程度のパートに分かれて収録し、最後は全員一斉に歌う様子を収録して終了です。まるでアーティストにでもなったかのような体験でした。子どもたちの歌声を入れた CD とミュージックビデオが制作され、2月21日にはお披露目会も企画されています。



12月14日、聖母保育園のお別れ会が行われ小中学校からも子どもたちが参加しました。保育園の園児と職員さんによるたくさんのお出し物、卒園生の小中学生からのメッセージ等で心温まる会となりました。57年の長きにわたり島の子どもたちを見守っていただきありがとうございました。